

MINAMI AIZU

広報
みなみあいづ

2026
8
No.245



52年ぶりの汽笛が響く—

この町の日常が旅の目的に ふくしまDCの記録



▲52年ぶりに特別運用されたSL大樹「土津(はにつ)」

桜、石蔵、星空、そしてSL。
この春、南会津町のいつもの風景
が、たくさんの笑顔で彩られまし
た。

4月から6月まで開催された
「ふくしまデスティネーションキ
ャンペーン(ふくしまDC)」は、
JRグループと県、市町村、観光
事業者などが一体となり、地域の
魅力を全国へ発信する観光キャン
ペーンです。

毎年桜が咲く公園。昔から変
わらず佇む石蔵。澄み渡る夜空。
そして、人々が行き交う駅前。

いつもの風景に少しだけ新しい
楽しみ方を添えることで、人が集
い、笑顔が生まれ、この町の魅力
が改めて輝きました。

この春、南会津町を包んだ「し
あわせの風」を振り返ります。



▲にぎわうイートインスペースの様子



▲ライトアップされた会場

桜の下は
笑顔のピクニック会場

「OHANAMI PICNIC」

春風に包まれた公園が、特別な
ピクニック会場になりました。

花見スポットとして親しまれて
いるびわのかげ運動公園に、今年
はキッチンカーとオシャレなイー
トインスペースが登場。普段は子
どもたちが遊ぶ公園が、家族や友
人とゆったり過ごせる憩いの空間
へと変わりました。

子どもたちは芝生を元氣いっぱ
いに駆け回り、大人は桜を眺めな
がら食事やお酒を楽しみます。日
が暮れると桜はライトアップさ
れ、昼間とは違う幻想的な景色が
広がりました。

見慣れた公園が、世代を超えて
人が集い、笑顔があふれる「みん
なの居場所」となったイベントで
した。

石蔵に息づく南郷刺し子の美 「レトロな石蔵と南郷刺し子」

歴史ある石蔵が、南郷刺し子の美しさをより一層引き立てました。

伝統工芸「南郷刺し子」の魅力をもっと知ってもらいたいという思いから、歴史的建築物の石蔵で作品展を開催しました。

石蔵には、一針一針丁寧に仕上げられた作品が並んだほか、今回は特別に南郷刺し子会の指導のもと、刺し子体験も実施。来場者が手仕事の温もりと奥深さに触れる貴重な機会となりました。

歴史ある建物と受け継がれてきた文化が響き合う、この町ならではの時間が流れました。



◀石蔵と展示された南郷刺し子半纏



▲思い思いに楽しむ来場者

心地よい香りと

静かな夜のひととき

「香りと星のGOOD NIGHT」

初夏のやわらかな夜風を感じながら、香りに癒される穏やかな時間が流れました。

会場となったのは、旧針生小学校のグラウンド。アロマスプレーやジェリーフレグランスづくりなどのワークショップを開催。多くの方にご参加いただき、香りに包まれた会場は終始にぎわいを見せました。

また、会場内ではフードの販売も行われ、食事や飲み物を片手にゆったりと語ったり、思い思いの時間を楽しむ来場者の姿が見られました。

残念ながら星空は雲に隠れてしまいました。訪れた人たちの心に残る夜となりました。



▲会津高原尾瀬口駅でお出迎え

汽笛が結んだ、しあわせの風

「花嫁が導く祇園の里列車」

一本の汽笛が、町を訪れた人と迎える人、みんなの笑顔をつないでくれました。

ふくしまDCの締めくくりを飾ったのは、SL大樹「土津」の特別運行です。52年ぶりに会津線走る姿を一目見ようと、町内外から多くの来場者でにぎわいました。

黒い車体がゆっくりとホームへ姿を現すと、あちらこちらから歓声が上がります。沿線では地域の人たちが列車に向かって手を振

り、車内の乗客も笑顔で応えました。

駅前ではマルシェをはじめ、太鼓やしゃんぎり演奏など様々な催しが行われ、見る人を惹きつけました。

見慣れた駅に響いた汽笛は、この町に「しあわせの風」を運び、多くの人の心に残るフィナーレとなりました。

アフターDC開催決定

この春の挑戦は、来年へつながります。

令和9年(4〜6月)、「アフターDC」の開催が決定しました。今回の取組をさらに磨き上げ、南会津町ならではの魅力を、もっと多くの皆さんに楽しんでもいただけるイベントを準備しています。来年も、南会津町に吹く「しあわせの風」に、ご期待ください。





会津 田島 祇園祭

令和9年度より、会津田島祇園祭の日程は海の日（7月第3月曜日）と連続する土曜日・日曜日の3日間に変更されます。

真夏の暑さの中、会津田島祇園祭が開催されました。熱気に包まれた会場では、屋台で上演される「子供歌舞伎」や、五穀豊穡・疫病退散を祈り、花嫁衣装の女性たちが神社に供物を捧げる「七行器行列」などが行われました。また、200店舗近くの出店が並び、多くの人が訪れました。







伝えたい、私たちの思い――

南会津町青少年の主張大会

小学生の部

賞	氏名	学校名	学年	題名
最優秀賞	大山 はると 遥仁	館岩小学校	6年	A I にはない人のみ力
優秀賞	佐野 りおと 琳音	伊南小学校	6年	命を育てるということ
	近藤 くれあ 来愛	南郷小学校	6年	言葉のつまったその先に
	室井 けいじ 慶嗣	田島小学校	6年	夢のためにできること
奨励賞	渡部 はると 陽太	田島第二小学校	6年	I LOVE 南会津大作戦
	星 ゆめ 結芽	桧沢小学校	6年	骨折してわかった優しい心
	土屋 かの 夏乃	荒海小学校	6年	将来の夢

中学生の部

賞	氏名	学校名	学年	題名
最優秀賞	鈴木そのか	田島中学校	2年	子どもたちが地域にとどまるために
優秀賞	星 りまき 凜咲	荒海中学校	3年	ブラック校則を減らしていくために
	星 あやか 綾香	田島中学校	3年	親子のつながり
	脇坂 ここな 心捺	南会津中学校	3年	賢く使おう
奨励賞	酒井 はるな 陽菜	南会津中学校	3年	「食べる」こと
	高橋 ゆのか 夢雪花	館岩中学校	3年	私の走る道、これからの歩み
	八木橋 ましお 真汐	荒海中学校	3年	A I とこれからの私たち

高校生・青年の部

賞	氏名	学校名	学年	題名
最優秀賞	湯田 ひめろ 姫琉	南会津高等学校	3年	地域の誇りを守り、育て、未来へ引き継ぐ
優秀賞	志賀ゆめり	南会津高等学校	2年	私の世界が広がっている
奨励賞	弓田 ゆうら 優来	南会津高等学校	3年	広がる絆、つながる地域
	河原田 かいと 海斗	南会津高等学校	2年	南会津から世界へ



【問合せ】 生涯学習課 生涯学習係 電話 0241-62-5511

7月5日、令和8年度南会津町青少年の主張大会を御蔵入交流館文化ホールで開催しました。町内の小・中・高校から計113名の応募があり、学校推薦による18名が発表会に出場しました。

出場した18名の主張の題名をここで紹介するとともに、各部門で最優秀賞に輝いた3つの主張を、原文のまま掲載します。

また、幕間には、アトラクションとして石森禎枝さんによるアイリッシュハープの演奏が行われ、美しい音色で会場を魅了しました。



館岩小学校 6年
大山 遥仁 さん

「オーケーグーグル。今日の南会津町の天気は？」僕の家では、このフレーズが日常茶飯事だ。問いかければ、AI（人工知能）はすぐに、正確な答えを返してくれる。膨大な情報を持ち、一瞬で疑問を解決してくれるAIは、現代の僕たちにとって、なくてはならない便利な存在となっている。しかし、ふとした時に不安になることがある。何でもAIに頼り、答えだけを求めることが当たり前になってしまったら、僕たちは大切な何かを忘れてしまうのではないだろうか。

例えば、学校で困ったことがあったときだ。AIなら、最短の決策を教えてくれるだろう。しかし、友だちは違う。一緒に悩んだり、時には意見がぶつかってケンカをしたりすることもある。以前、僕は友だちとき細なことでケンカをしてしまったことがある。あまりに沈黙が続き、AIに「仲直りの方法」を聞けば、きつと正しい手順を教えてくれただろう。でも、勇気を出して行動したのは僕自身だった。僕は友だちの前に立ち、まっすぐ相手の目を見た。自分の心臓の音が聞こえてきそうだった。ドキドキしながら「ごめんね」と伝えた。すると、相手の表情がふっと和らぎ「こちらこそ、ごめん」という言葉が返ってきた。ケンカは無駄なものかもしれない。けれど、仲直りをする過程で相手の気持ちを想像し、思いやることで、絆は深まっていく。この「感情のやり取り」こそが、AIには真似できない人間ならではの心の交流だと思う。無駄だと思ふことの中に、人と関わることの本当の価値があるのでないだろうか。答えがないからこそ、自分で考え

て、もっと友だちを思いやることのできるようになった。

また、僕には忘れられない感覚がある。幼い頃、怪我をしたりお腹が痛かったりしたとき、母が「痛い痛い、飛んでいけ」と言いながら、そっと手を当ててくれたことだ。普通に考えれば、手を当てただけで治るわけがない。それでも、不思議とお腹の痛みは引いていき、心まで軽くなった。それは、母の「治ってほしい」という温かい優しさが、僕に魔法をかけてくれたからだと思う。画面越しに情報をくれるAIは便利だけれど、誰かの手の温もりや、震える声に寄り添うことはできない。人と人が直接ふれ合うことには、どんな最新技術もかなわない、不思議な力があるのだ。

もちろん、僕はAIを否定するつもりはない。これからも上手に活用し、生活を豊かにしていきたい。けれど、便利な道具に依存して、努力することや相手を深く思いやることを忘れてしまいたくはない。AIの知能と、人間の心の温かさ、それらの両方を大切にしながら、僕はこれからも、目の前の人と人とのつながりを大切にしていきたいと思う。





田島中学校 2年

鈴木 そのか さん

この南会津町は豊かな自然と伝統文化などの魅力がたくさんある地域です。皆さんは南会津の魅力といえば、どのようなものを想像しますか。とてもおいしい南郷トマトや、新鮮でまっすぐに育った風味豊かなアスパラガスなどの農産物。そして、全国に誇れるいくつかの有名な酒蔵があります。夏には伝統ある祇園祭が町を活気で満ち、冬には極上の雪質と多彩なゲレンデ構成の四つのスキー場で県内外の多くの人を魅了しています。これらの素晴らしい「食・観光・四季折々の美しい景色・伝統文化」は私たちが未来へ誇るべき南会津町の最大の財産です。しかし、この素晴らしい魅力をもつこの町も、現在は深刻な人口減少という大きな課題に直面しています。

五月下旬に、私の学校に福島県企画調整復興・総合計画課の方が来校し、「ふくしまのミライ」について考える機会がありました。福島県、そして南会津町の現状について学ぶうちに、「人口減少」に対する危機感がよりいっそう高まりました。南会津町は高齢化・少子化が進み「令和六年の合計特殊出生率は1・20%となっており、人口を維持するのに必要な水準を大きく下回っている」と第三期南会津町子ども子育て支援事業計画に表記されていました。また、「南会津町高齢者保健福祉計画」の中の高齢者の生活実態アンケートの調査結果で、一人暮らしが16・8%、夫婦二人暮らし（配偶者六十五歳以上）は35・4%とあり、ここから一人暮らしのお年寄りが増えているということがわかりま

した。これに対して、若い世代はどうかというと、高校進学を機会に会津若松市や県内外へと転出していく傾向があります。さらに、高校を卒業すると地域に残る人は一握りとなっています。

そこで私は、「いつか必ず戻ってきたい」と思える町づくりをしていく必要があると考えました。これを実現するために、今の私にできることは、南会津町の魅力を地域や町だけでなく、私たち若い世代が協力し、SNSなどで広い世代に向けて発信し、地域ファンを増やすことだと考えます。例えば南郷トマトを活かした新商品の開発や、だいくらスキー場の通年観光化など、デジタル技術や若者の感性を活かした新ビジネスに挑戦できる町にしていくのはどうでしょうか。そして私たち若い世代も、地域の行事も積極的に参加し、人と人とのつながりを大切にしていくことが大切です。故郷が「夢をカタチにできる場所」になれば、若者は必ず戻ってきます。また、南海トラフ巨大地震を見据えた「様々な地域からの避難者を温かく受け入れる町

づくり」が必要です。災害に強い内陸部というメリットを生かし、防災拠点の整備や備蓄の強化を徹底し、被災した人々が安全に避難できる体制を今から築くべきだと考えます。誰もが不安な避難生活を乗り越えられるよう安心で安全な街を私は強く望みます。多くの避難者を温かく受け入れ、誰もが「ここなら安心・安全だ」と思える、優しく強い南会津町を、決して大人任せにせず、私たち若い世代も一緒になって創り上げていきたいと思うのです。

大人が思いつかないような自由な発想で、町の未来を描く「想像力」。そして、これからの街として実際に具現化していく「創造力」。この二つの力を原動力に新しい未来を、大人と共に創り上げていきたいです。誰もが心から安心・安全だと思える強く優しい南会津町を目指したいです。私たちの描く「想像力」が、この町の新しい明日を「創造」していくのだと心から確信しています。そのためにも私たちは地域について学び続けていこうと思います。



南会津高等学校3年

湯田 姫琉さん

「GI南会津」この称号は、南会津町の風土が育てた日本酒である証です。町単独での指定は全国初という快挙で、豊かな自然と文化の象徴でもあります。

私の家では、林業と農業を営んでいます。父は私たちが幼い頃から「森が豊かななら、水も農地も、そして海も豊かになる。だから、森を守る人が必要だ」と言いつづけ、兄とともに林業を行っていました。また農業は、28haの水田を管理しており、そのうち8haで酒造好適米「夢の香」を生産しています。新酒の時期になると祖父は、「南会津の日本酒はうまいな。うちの米の出来が良かったからだな」といつも嬉しそうに話します。手伝う私まで職人になった気分になり、私も「伝統の味」を支えたいと強く感じてきました。「GI南会津」に指定される日本

酒には、厳しい条件があります。

「南会津町で栽培された米と水のみを使用し、南会津町で醸すこと」。この条件を満たし、審査会を通過したもののだけが、その称号を得られます。地元の国権酒造、細井さんに伺うと、南会津町は江戸時代から酒造りが盛んでした。冬に交通が遮断されがちだったため、地域の人々が試行錯誤し、自らの食文化に合う酒を造り上げてきたとのことでした。このおいしさを育むのは、森が磨いた「超軟水」と、冬の低温環境です。しかし、何より大切なのは原料の米です。「美味しい水や腕の良い杜氏がいっても、米が悪ければGIにはなれない」という細井さんの言葉に、私は米農家としての責任の重さを再確認しました。

一方で、現在の南会津町は深刻な人口減少問題があります。農林

業だけでなく、酒蔵でも杜氏の担

い手不足が深刻化しています。そこで今、酒蔵では経験や勘に頼るのではなく、温度や発酵プロセスをデータ化することで、若手社員であっても、熟練の杜氏が作る味を再現できる酒造りに挑戦しているそうです。この「データの活用」という考え方は、まさに私が目指すスマート農業の姿であり、深く共感しました。農業も、長年の「勘」に頼るのではなく、データを活用して病害虫防除や施肥、温度管理を行う。そうすることで、若者であっても、高品質・高収量を維持することが可能になると確信しています。

そこで私は、今年は「夢の香」の生産に本格的に取り組むことを決め、祖父にその決意を伝えました。「米作りはそんなに甘くないぞ」という厳しい言葉を背負いながら、春の播種から手間と時間を惜しまず稲と向き合ってきました。若者がデータに基づいて美味しい酒米を作り、その米を使い、酒蔵がデータを駆使して最高の一滴を醸す。この「データによる技術のバトン」こそが、これからの南会津町には必要不可欠なのです。さらに私は、「地場野菜」の栽培にも挑戦します。鍵となるのは、酒造りで生まれる「酒粕」で

す。地元には、酒粕を秋に施肥し、

冬の間に熟成させて栽培に適した土壌をつくる。先駆的な「循環型農業」の知恵があります。この循環が生み出す価値を、さらなる魅力として伝えたいと考えています。そしてその舞台は、「会津田島祇園祭」です。観光客に向け、新たな郷土料理を提案します。大人には、酒粕肥料で栽培した旬の野菜を使った「はっとう」を現代風にアレンジした一皿で「GI南会津」との最高のペアリングを演出します。子供たちには、野菜の甘みを活かした「酒粕デザート」を。幼い頃から地域の宝の味に親しみ、未来のファンを育てる。こうした活動こそが、私の考える「担い手」のあり方です。

私にとって「担い手になる」とは、単に家業を継ぐことではありません。地域の誇りを守り、新たな技術と価値を加えて、次の世代に未来を渡すことです。「南会津の農業って、最先端で一番カッコいいんだ。」そう胸を張って言える未来を、私はつくっていききたい。兄が守る森の水、私がデータで育てる米や野菜、そして蔵元が繋ぐ技。これらを一つに結び、「GI南会津」をさらに世界へと広げていきます。

ガバメントクラウドファンディング

（ふるさと納税）を実施しています

町では、地域の大切な文化と風景を未来へつなぐため、2つのプロジェクトでガバメントクラウドファンディングを実施しています。

【ガバメントクラウドファンディングとは】

ふるさと納税の仕組みを使って、自治体を取り組む特定の事業・プロジェクトに対して寄附を募る制度です。町にお住まいの方も、寄附と税控除（所得税・住民税）を受けることができます。

【2つのプロジェクト】

① たていわ夏まつり花火大会の継続支援

友好都市・さいたま市との絆の象徴として、地域に親しまれてきた会津高原たていわ夏まつり花火大会。近年の急速な物価・資材価格の高騰により、花火打ち上げにかかる経費が大幅に増加し、大会の継続が危ぶまれています。この夏の風物詩を途絶えさせないた



① たていわ夏まつり花火大会の継続支援

■募集期限

10月15日（木）まで

■目標金額

200万円

■使い道

会津高原たていわ夏まつり花火大会の打ち上げ費用をはじめとした運営への支援として大切にに使わせていただきます。

め、ガバメントクラウドファンディングに挑戦します。

② 前沢曲家集落の修景・保全

■募集期限

11月30日（月）まで

■目標金額

1,000万円

■使い道

茅葺屋根の修繕をはじめとした、景観整備・修景と地域の持続的な保全に、大切にに使わせていただきます。

② 前沢曲家集落の修景・保全
国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている前沢曲家集落（前沢）では、茅葺屋根の維持管理に多大な費用と熟練職人の技が必要です。しかし、資材費・人件費の高騰や担い手不足により、この暮らしと景観の維持は年々困難になっていきます。集落住民の約半数が65歳以上と高齢化も進む中、「日本の原風景」を守り続けるため、皆さまのご支援をお願いします。



【問合せ】

館岩総合支所 振興課 企画観光係
電話 0241-78-3330

前沢曲家集落
への寄附はコチラ▶



たていわ花火大会
への寄附はコチラ▶



南会津町 町民手づくり舞台

オペレッタ(喜歌劇) 「こうもり」 公演のお知らせ

御蔵入交流館文化ホールにおいて、町民手づくり舞台公演を行います。

【公演日】

11月15日(日)

※開場 午後0時30分

※開演 午後1時30分

【公演場所】

御蔵入交流館文化ホール

【公演内容】

オペレッタ(喜歌劇) 「こうもり」

「みんなで出演、みんなで作る!」を合言葉に、町民手づくり舞台公演合唱団と縁のプロのソリスト達が贈る、笑いあり・歌ありの舞台です。

華やかなワルツやポルカの歌声、手づくりの衣裳や道具にもご注目ください。

大晦日の夜、仮面舞踏会で巻き起こる「こうもり博士の復讐劇」。ドタバタ喜劇の結末は、いったいどうなる?

チケットについて

■料金(全席指定席)

大人1人(前売り) : 3,000円

大人1人(当日) : 3,500円

高校生以下 : 無料

※0歳から入場可能

※無料チケットが必要

■チケット販売開始

8月25日(火) 午前9時~

■プレイガイド

南会津町文化ホール(御蔵入交流館)

電話 0241-62-6311

Webサイト(公演前日午後6時まで)

Webで購入の方は
コチラ▶



注意事項

- 1 チケット購入後の変更・キャンセル・払戻しはできません。
- 2 車いす利用の方は、御蔵入交流館でチケット購入をお願いします。また、その際に車いす利用とお伝えください。
- 3 無料チケットは御蔵入交流館でのみ取り扱いとなります。

【問合せ】

生涯学習課 芸術文化係 電話 0241-62-6311

ホームページ
はコチラ▶



「子ども・子育て支援金制度」が始まりました

【子ども・子育て支援金制度とは】

子ども・子育て支援金制度は、子どもや子育て世帯を社会全体で支えるための制度です。

すべての世帯・企業が医療保険料と併せて子ども・子育て支援金を納付することになります。

集まった支援金は、少子化対策事業に活用され、子育て世帯を支援し、少子化に歯止めをかけ、日本の未来を支える取組に役立てられます。

※令和8年4月分から、すべての医療保険に子ども・子育て支援金が増額されています。

【支援金が使われる少子化対策事業】

- ① 児童手当の拡充
- ② 出生後休業支援給付
- ③ 育児時短就業給付
- ④ 妊婦支援給付
- ⑤ 子ども誰でも通園制度
- ⑥ 国民年金第1号被保険者の育児期間中の国民年金保険料免除

【国民健康保険税・後期高齢者医療保険料への影響】

令和8年度分から、国民健康保険税と後期高齢者医療保険料に、子ども・子育て支援金分が上乗せされます。

支援金の金額は、所得や世帯の状況によって異なります。なお、低所得者などに対し、支援金を含む保険税（料）の軽減措置を実施します。

さらに、国民健康保険税では、18歳になる年度末までの子どもに係る支援金の均等割額を全額軽減する措置も併せて行います。

【問合せ】

こども家庭庁コールセンター

電話 0120-303-272

税務課 町税係

電話 0241-62-6110

住民生活課 国保年金係

電話 0241-62-6120

詳しくは
コチラ▶



田島祇園祭屋台歌舞伎の協賛金を募集します

12月13日（日）に御蔵入交流館

で第14回田島祇園祭屋台歌舞伎特別舞台公演を開催します。地域の子どもたちが誇りをもって取り組んできた屋台歌舞伎を発表いたします。この公演で培った力が、来年の祇園祭にも繋がります。

人口減少が進む中でも工夫を凝らしながら屋台歌舞伎の保存・伝承活動を続け、地域の魅力を発信しています。この活動にご賛同いただける方は、ぜひ協賛金へのご協力をお願いいたします。

協賛金について

■対象

協賛金をいただいた企業、団体、個人

■特典

以下のものに名称を記載させていただきます。

①協賛金 10万円未満

公演プログラム

②協賛金 10万円以上

公演プログラム・ポスター・チラシ

祇園祭歌舞伎上演プログラム

※公演プログラムは、来場者及びふるさと納税者（使途を田島祇園祭屋台歌舞伎保存事業と選択された方）へ配付します。

■申込期限

9月30日（水）

協賛金の申込みはコチラ▶



【申込み・問合せ】

生涯学習課 芸術文化係

電話 0241-62-6311

第14回田島祇園祭屋台歌舞伎特別舞台公演

■日時

12月13日（日） ※入場無料

午後1時30分～午後6時30分 予定

■場所

御蔵入交流館文化ホール（800席）

■出演

田島小学校3年生

田島祇園祭屋台歌舞伎保存会

■主催

田島祇園祭屋台歌舞伎保存会

対象品名

- ① 電動歯ブラシ
(ブラシ部分は必ず外す)
- ② 電動シェーバー
(ヘッドの網刃や刃は外す)
- ③ ハンディファン
- ④ ポータブルスピーカー
- ⑤ ワイヤレスイヤホン
- ⑥ スマートウォッチ
- ⑦ ドライブレコーダー

※平日に限る
午前8時30分～午後5時15分

【利用時間】

回収場所の窓口で、職員に直接お渡しください。

【回収方法】

環境水道課・各総合支所窓口

【回収場所】

現在、町ではリチウムイオン電池等の窓口回収を行っています。新たに8月から電動シェーバー、電動歯ブラシなどの内蔵型リチウムイオンバッテリー製品等も回収します。

information

05

内蔵型リチウムイオンバッテリー製品の窓口回収を始めます

【問合せ】

環境水道課 環境衛生係
電話 0241-62-6140



注意事項

- ① 膨張・破損している製品に関しましては、東部または西部クリーンセンターへの自己搬入をお願いします。
- ② 内蔵型リチウムイオンバッテリー製品等に関しましては、リサイクルマークの有無を問いません。
- ③ 対象品目以外の製品は回収できません。

受け入れ可能事業者

料金

- | | |
|--|-----|
| ① (株) 高山重商店
住所 田島字南下原甲 1965-1
電話 0241-62-0173 | 0 円 |
| ② (株) 会津オートサービス
住所 中荒井字五百苅 319-1
電話 0241-64-5755 | 0 円 |
| ③ アーク自動車工業 (有)
住所 中荒井字油灯下 100-1
電話 0241-63-1055 | 時価 |
| ④ (株) 芳賀自動車工場
住所 中荒井字上平 1767
電話 0241-62-2100 | 0 円 |

【問合せ】

環境水道課 環境衛生係
電話 0241-62-6140

使用済みオイル缶は、燃えるごみ・燃えないごみとしてごみ集積所に出すことはできません。現在、処分方法がわからず困っているというお問い合わせや、誤ってごみ集積所に出してしまうケースが見受けられます。町では各取扱い店に聞き取りを行い、受け入れ可能と回答いただいた事業所を左記のとおり紹介いたします。

注意事項

- ① 使用済みオイル缶（空の缶）をお持ちください。空になったオイル缶に別の種類のオイル等を入れて使用した缶は安全が確保できないため回収できません。
- ② 町での受け入れは行っておりませんので、詳しくは受け入れ可能店舗又は販売店へご相談ください。

information

06

使用済みオイル缶の受け入れ可能な事業所を紹介します

生活保護費等の追加給付について

【過去に生活保護を受けられていた方へ】

平成25年から行われた生活扶助基準の改定について、最高裁判決を踏まえ、対象となる方に生活保護費等の追加給付が行われます。平成25年8月から令和8年3月までの間に生活保護を受けていた方は、対象となる場合があります。現在も生活保護を受けている方は、原則として申出が必要です。各福祉事務所から通常の保護費とあわせて給付されます。

注意事項

- ①追加給付額は一律ではなく、生活保護を受けていた期間や当時の世帯状況などにより異なります。
- ②現在、生活保護を受けていない方は原則として申出が必要です。
- ③亡くなられた方は追加給付の対象になりません。

福島県ホームページ
はコチラ▶



【問合せ】

最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付相談センター

電話 0120-179-445（通話無料）

受付時間 平日午前9時から午後3時まで

申出について

■受付期限

令和9年7月31日（土）まで

■申出先

- ①県内の町村で受給されていた方は「福島県」
- ②県内の市で受給されていた方は「福島県及び受給されていた自治体」

■申出書・記載例の入手先

- ①福島県ホームページ
- ②町村役場の担当窓口

「ホンダリヴェルタ」夏強化練習 フットボール教室を開催

女子ソフトボール最上位リーグ「JDリーグ」で活躍するホンダリヴェルタの皆さんが、7月20日～30日の11日間、びわのかげ野球場で夏強化練習を行いました。21日の歓迎セレモニーでは「んだべえのハンカチ」を贈呈。26日のソフトボール教室には地域の子供たちが参加し、トップアスリートの指導に真剣に取り組み、笑顔が溢れる教室となりました。



ホンダリヴェルタの皆さん



ソフトボール教室での集合写真



ソフトボール教室の様子

消 春の叙勲 瑞宝単光章を受章 防団の技術向上に尽力

令和8年春の叙勲において、星 寛 さん(岩下) が瑞宝単光章を受章されました。

星さんは、昭和49年に旧館岩村消防団に入団。平成7年から訓練予防分団長、平成10年からは副団長を務められました。平成16年3月には団長に就任し、その重責を担われ、平成18年3月に退団されるまでの31年余の長きにわたり、消防団の技術向上に尽力されました。



左から、渡部町長、星さん、佐藤隆広南会津振興局長



左から、渡部町長、NTT東日本(株)宮城事業部
福島支店 大橋真孝支店長

災 NTT東日本(株)と基本協定を締結 害時の連携体制を強化

6月29日、南会津町とNTT東日本(株)宮城事業部福島支店は、「災害時等における相互協力に関する基本協定」を締結しました。

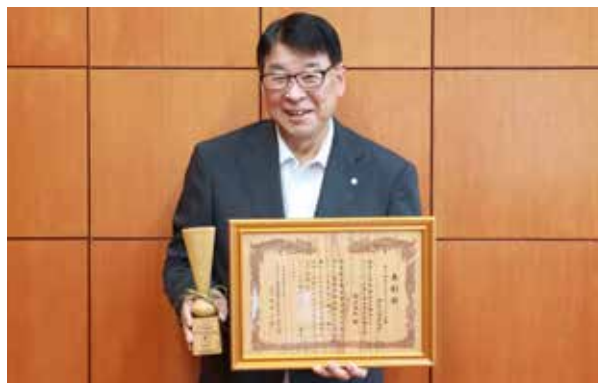
本協定は、災害発生時における災害情報の迅速な共有や通信インフラの早期復旧を円滑に行うための連携体制を整備することで、地域防災力の向上を図ることを目的としています。

御 ヒートポンプ・蓄熱月間感謝状贈呈式 蔵入交流館の空調設備が評価

7月10日、東北電力(株)福島支店宮尾知明副支店長・販売本部長より町長へ賞状及び記念品が贈呈されました。令和5～7年度に改修した御蔵入交流館の空調設備が、省エネルギーや電気需要の最適化への貢献として評価されたもので、本町初の受賞となりました。今後も効率的な運用を進め、省エネルギー化に取り組んでいきます。



左から、東北電力(株)福島支店宮尾知明副支店長
渡部町長、東北電力(株)会津若松支店千葉幸市支店長



木製トロフィーと木製表彰状を持つ渡部町長

本 カーボンニュートラル賞・東北支部奨励賞を受賞 庁舎の環境技術が評価

5月19日、南会津町役場本庁舎が、(一社)建築設備技術者協会主催の「第14回カーボンニュートラル賞」において、東北支部奨励賞を受賞しました。

本賞は、温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す社会の実現に向けた取組を表彰するもので、空調・融雪設備の地中熱利用、太陽光発電、内装や家具に木材を活用した取組が評価されたものです。

安 第76回社会を明るくする運動 全・安心な地域社会を目指して

7月2日、南会津地区保護司会(会長 土井昭二^{しょうじ}氏)の皆さんが来庁し、二瓶副町長へ内閣総理大臣・福島県知事からのメッセージを伝達しました。

今年で76回目を迎える本運動は、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くことを目的とした全国運動です。毎年7月は強調月間となっています。



二瓶副町長にメッセージを手渡す保護司会の皆さん



バターサブレを受け取った児童たち(桧沢小学校)

ふ (株)太郎庵がバターサブレを贈呈 ふるさとへの愛着を深める機会に

7月7日、(株)太郎庵から町内全小中学校の児童生徒へ「会津の天神さまバターサブレ」が贈られました。

本サブレは、今年3月にANA(全日本空輸)の国内線で提供され、パッケージには福島県の復興や環境再生の取組を紹介するQRコードが掲載されました。

今回の贈呈は、地元・福島のお菓子に親しみ、ふるさとへの愛着を深める機会となりました。

新 会津山村道場リニューアルオープン 新たな観光拠点として始動！

7月4日、会津山村道場がリニューアルオープンを迎えました。会場では、関係者によるテープカットが華やかに行われ、多くの方が新たな門出を祝福しました。

今回のリニューアルでは、昭和の文化や暮らしを体感できる「昭和ノスタルジア館」やお食事処の新設などが行われ、来場者からは歓声が上がっていました。

宿泊やキャンプも楽しめる新たな観光拠点として、今後の賑わいが期待されます。



テープカットの様子



レコードやおもちゃが数多く並ぶ昭和ノスタルジア館



リニューアルした館内(お食事処 月の兎)

安 まちづくり・地域づくり講演会 全・安心な、活力ある未来へ

7月14日、南会津地方町村会主催の「まちづくり・地域づくり講演会」が、御蔵入交流館で開催されました。

福島県土木部の矢澤敏幸^{としゆき}部長を講師にお招きし、会津地方の道路事業の予算の動向や会津縦貫南道路の整備状況などについてご講演いただきました。

また、安全で安心な暮らしを確保するための国土強靱化の事業事例についてもご紹介いただきました。



講演を行う矢澤土木部長



栄養講話の様子

食 黒沢区でまちづくり出前講座を開催 からはじめる健康づくり

6月25日、黒沢集会センターで「まちづくり出前講座」が開催されました。

講座では、町栄養士の野中町子^{まちこ}さんによる栄養講話を行ったほか、毎日の健康に役立つ食材の展示や食生活改善推進員の皆さんによる減塩試食も行われました。参加した皆さんは真剣に聞き入り、健康づくりへの意識を高めていました。

夏 食育講習会 を元気に！食で健康づくり

7月2日、御蔵入交流館で「食育講習会」が開催されました。

ふくしま食育実践サポーターの三森美智子^{みちこ}さんを講師にお招きし、夏野菜を使用した調理実習や、夏を元気に過ごすための食生活について栄養講話を行いました。夏バテを予防し、元気に夏を乗り切るためにも「バランスの取れた食事」を心掛けましょう。



調理方法を説明する三森さん^{みちこ}と参加者の皆さん



田植えの様子

次 田島第二小学校で農業実習プロジェクト 世代に繋ぐ農業の実演

6月29日、田島第二小学校の5・6年生21名が田部地区のほ場(水田)で田植え実習を行いました。

児童たちは、田部地区の農家の皆さんから昔ながらの手植えを教わり、泥だらけになりながらも真剣なまなざしで植え付けました。

同校では毎年「米・食味分析鑑定コンクール」へ応募しており、今年も秋に稲刈り作業を行い、収穫したお米を出品する予定です。



七夕まつり開催 中心市街地にぎわいづくり

7月4日、中心市街地にぎわいづくり事業の一環として、上中町地内で「七夕まつり」が開催されました。

暁太鼓の演奏や田島小学校4年生によるよさこい、あかかぶ紅歌舞による演舞のほか、大抽選会などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

また、今年度は新たに南会津高校生によるブースが設けられ、ストラックアウトなどのゲームを開催。幅広い年代の方が集まり、終始賑わいを見せていました。



多くの来場者で賑わう会場



南会津高校生によるブース



紅歌舞による演舞



男杉



女杉



女杉の前で記念撮影



荒海中学校の生徒が男杉女杉を見学 重なる天然記念物に触れて

7月8日、荒海中学校の1年生11名が総合的な学習の一環として、藤生熊野神社(藤生区)の御神木である男杉女杉を見学しました。

男杉女杉は、ともに樹齢500年以上(推定)、樹高約37m、胸高周囲約7.6mの巨大な天然杉で、福島県緑の文化財・町指定天然記念物となっています。

生徒たちは、藤生区長のあきのり星明則さんから地区で守り続けてきた神社と男杉女杉の歴史について説明を受けた後、両杉に実際に触れ、その迫力と雄大さに驚きの声を上げていました。



星区長から説明を受ける生徒たち

永 旭日単光章を受賞 年の功績をたたえる

7月21日、故・湯田良一さん(田部)の叙勲伝達式が町長室で行われ、ご家族へ佐藤隆広南会津地方振興局長より勲記及び勲章が伝達されました。

湯田さんは、平成23年4月から令和5年5月までの3期12年にわたり、南会津町議会議員として在職。地域農林業の振興、町民所得の向上、就労対策と企業支援にご尽力されました。



左から、渡部町長、ご子息の湯田良樹さん、佐藤隆広南会津振興局長



関本悠遊クラブ(平均年齢80.4歳)・
長野老人クラブ長寿会(平均年齢82.2歳)の皆さん

一 ニュースポーツ交流大会で優勝！ 致団結で総合優勝

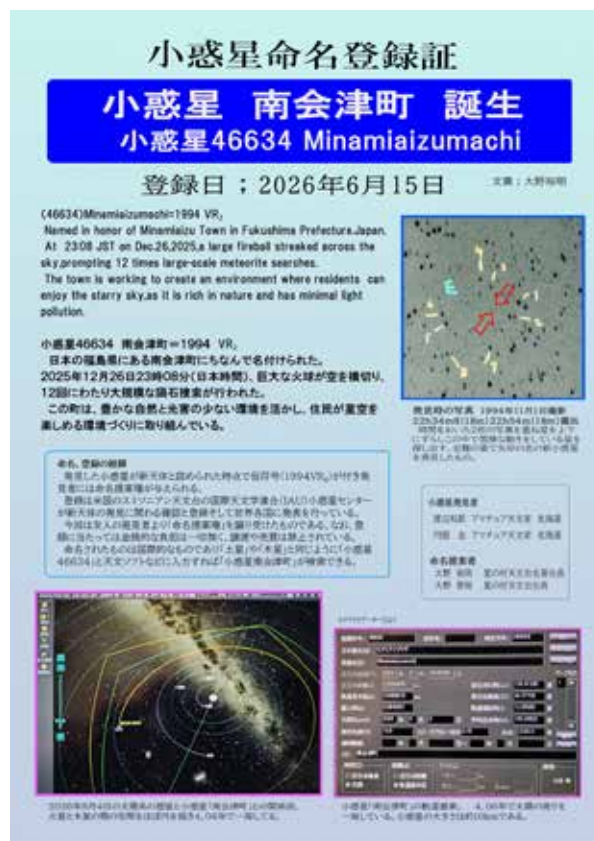
7月9日、下郷町ふるさと公園で開催された標記大会において、囲碁ボール競技で関本悠遊クラブ、スカットボール競技で長野老人クラブ長寿会がそれぞれ優勝し、10月28日に郡山市で行われるチャンピオン大会への出場権を獲得しました。また、南会津町①チーム(関本悠遊クラブ、長野老人クラブ長寿会、本町延寿会)が総合優勝を果たしました。

南 小惑星命名登録証を拝受 会津町が宇宙に刻まれる

7月16日、星の村天文台名誉台長大野裕明氏より渡部町長へ命名登録証が贈呈されました。美しい星空を活かした地域振興の取組や「南会津ほしぞらの会」が中心となった隕石搜索活動などの功績が評価され、6月15日に国際天文学連合(IAU)より小惑星46634番に「Minamiaizumachi」と命名されました。



渡部町長へ登録証を贈呈する大野裕明氏と
それを囲む南会津ほしぞらの会の皆さん



贈呈された小惑星命名登録証

み 南郷スキー場手作り鳥居100基設置 みんなでつくるスキー場の未来

7月12日、南郷スキー場にて、スキー場の夏の活用を目的に「南郷ブルー」の鳥居設置作業が行われました。設置には、スキー場振興協議会委員を中心に県内外から約50名のボランティアが駆けつけました。8月には四輪バギーの専用コースを整備し、レンタルサービスを開始します。ぜひ、夏の南郷スキー場へ足を運んでください。



設置した鳥居をくぐる参加者



鳥居の先の頂上特設テラス



ゲレンデ内を駆け巡る四輪バギー



自 会津鉄道㈱「お座トロ展望列車」試乗会 然を満喫！

6月22日と29日に、町内の保育所(園)と幼稚園の年長児を対象に、お座トロ展望列車の試乗会が行われ、会津田島駅～湯野上温泉駅を往復しました。

子どもたちは、窓のない臨場感たっぷりのトロッコ席と掘りごたつ風のお座敷席から、南会津町と下郷町の大自然を満喫しました。また、湯野上温泉駅では、足湯や駅周辺の探索などを楽しみました。





木育キャラバン in みなみあいづ



7月4日(土)～7月5日(日)の2日間、きとねにおいて「木育キャラバン in みなみあいづ2026」が開催され、約700人の方々にご来場いただきました。

東京おもちゃ美術館の木のおもちゃが200種類以上並べられ、きとねに子どもたちの笑顔や元気な声であふれる素敵な2日間となりました。

木工房やすべえによる木のゴム鉄砲づくりや木のブレスレットづくりも好評で、たくさんの方で賑わいました。

今後も木育を通して「木の町みなみあいづ」を盛り上げていくため、イベント等を開催してまいります。

きとね
Instagram
はコチラ



【問合せ】

農林課 林政係
電話 0241-62-6220

KITONE NEWS



9月26日(土)

第12回南会津アロマまつり

時 間: 午前10時～午後4時
会 場: きとね
問合せ: 南会津町アロマ祭り実行委員会
電 話: 050-1807-3591(事務局)

10月11日(日)

南会津林業祭 森と木の日

時 間: 午前10時～午後4時
会 場: きとね
問合せ: 南会津町林業祭実行委員会
電 話: 050-1807-3591(事務局)
※詳細は次号でお伝えします!

お盆明けの熱中症予防 について

長期の休みで、体が暑さに慣れていない状態に戻りやすくなり、お盆明けの活動で熱中症になりやすくなります。

また、帰省や移動などで疲れている場合にも、熱中症に注意が必要です。

【熱中症予防のポイント】

- ① 天気予報等で気温や湿度の把握
- ② 室温を測定し、エアコン・扇風機で温度をこまめに調節
- ③ 体を締め付けない涼しい服装で、外出時は日傘・帽子を着用
- ④ こまめに水分補給を
喉の渇きを感じていなくても、水分・塩分の補給を忘れずに
- ⑤ ふくしま涼み処の活用
詳しくは、ホームページをご覧ください。

問合せ 健康福祉課 健康増進係
電話 0241-62-6180



ふくしま涼み処
ホームページ



会津版「図柄ナンバープレート」 を導入します

会津地域の17市町村では、会津地域の魅力を広く発信し、観光振興や地域イメージの向上につなげるため、自動車用の「会津版図柄ナンバープレート」を導入します。

図柄ナンバープレートは、地域の風景や観光資源を図柄として取り入れ、地域の魅力を全国に発信することを目的としています。

ナンバープレートに使用する図柄デザインは、8月14日(金)～10月15日(木)まで公募を行う予定です。詳しくは、ホームページをご覧ください。

問合せ

総合政策課 地域振興係
電話 0241-62-6210
会津総合開発協議会 事務局
電話 0242-24-6312



会津ナンバー
特設ホームページ



くらしの 情報



福島県政150周年記念 フォトメッセージ募集中！

県では、8月21日に福島県政150周年を迎えることを記念し、「ふくしまのここがスキ！～未来へ遺したいふくしま～」をテーマとして、フォトメッセージを募集しています。

自然・景観、歴史・文化、食、ものづくり、日々の暮らしなどの写真とともに、メッセージをお寄せください！

募集テーマ

「ふくしまのここがスキ！～未来へ遺したいふくしま～」

募集内容

テーマに沿った写真とメッセージ
応募対象

福島県に想いを寄せていただいている方

募集期限

12月28日(月)

応募方法

特設サイト内の応募フォームからご応募ください。

応募作品の紹介

応募いただいたフォトメッセージは、特設サイトでご紹介します。

問合せ

福島県文化スポーツ局文化振興課
電話 024-521-8633

福島県政150周年記念
特設サイト▶



あなたの就職を応援します！

県では、就業支援や生活再建を行う「ふくしま生活・就職応援センター」を、県内6か所(郡山・白河・会津若松・南相馬・いわき・富岡)で運営しています。

専門の相談員がきめ細かに対応しますので、生活再建や就職に関する相談など、お気軽にご利用ください。ご利用は無料です。

問合せ 会津若松事務所
住所 会津若松市南千石町6-5
会津若松商工会議所会館2階
電話 0242-27-8258
開館日 月～土曜日
午前10時～午後7時

ふくしま生活・
就職応援センター
メールアドレス▶



福島県立博物館開館40周年記念 特別展「大恐竜展」のお知らせ

県立博物館では、世界最古の新属新種パキケファロサウルス類の実物化石を世界で初めて公開する「大恐竜展」を開催しています。

恐竜ファンに限らず幅広い世代の方々に楽しんでいただける記念特別展です。ぜひお越しください。

開催期間 7月11日(土)～
9月23日(水・祝)

開催場所 福島県立博物館

入場料等 詳しくは、ホームページをご覧ください。

問合せ 福島民友新聞社事業部

電話 024-523-1334
※平日午前10時～午後4時

大恐竜展ホームページ▶



令和9年度 社会福祉法人南会津会職員採用試験のご案内

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等を運営する社会福祉法人南会津会では、職員採用試験を次により行います。

採用予定職種及び採用予定人員

(A) 看護職員 3名程度

(B) 介護職員 5名程度

採用予定年月日

令和9年4月1日(木)

職務内容

(A) 看護職員

特別養護老人ホーム等で利用者及び職員等の診療の補助、看護、健康管理、保健衛生等の業務に従事します。なお、特別養護老人ホーム及び只見町介護老人保健施設こぶし苑での勤務は交替制勤務となります。

※只見町介護老人保健施設こぶし苑は夜勤があります。

(B) 介護職員

特別養護老人ホーム等で利用者の食事・入浴・排せつ介護等の業務に従事します。なお、特別養護老人ホーム及び只見町介護老人保健施設こぶし苑での勤務は交替制勤務となります。

※夜勤があります。

受験資格

次の各項目に該当することを必要とします。

①普通自動車一種免許取得者

(令和9年3月31日までの取得見込み者含む)

②令和9年4月1日現在 60歳未満の者

③次の資格を有する者

ア. 看護職員は、保健師助産師看護師法に定める看護師免許又は准看護師免許の取得者
(令和9年3月31日までの取得見込み者含む)

イ. 介護職員は、特に資格要件はありません。

試験の方法

次の方法により試験を実施するものとする。

①作文試験

②面接試験

申込締切

令和8年9月11日(金)

試験の日時及び場所

日時: 9月27日(日) 午前10:00

※受付は9:30から

場所: 南会津町田島あたご館

(旧 田島町中央公民館)

3F 大ホール・研修室

住所: 南会津郡南会津町田島字後

原甲3586-1

問い合わせ先

社会福祉法人南会津会

本部事務局(特別養護老人ホーム田島ホーム内)

受付時間: 午前9時から午後6時まで

電話: 0241-63-1118

社会福祉法人南会津会
採用試験申込フォーム▶



第19回 南会津救急・消防フェア の開催について

南会津地方広域市町村組合消防本部では、「救急の日(9月9日)」及び「救急医療週間(9月6日～12日)」にあたり、救急に関する講演や心肺蘇生法などの応急手当講習を受講できるイベントを開催します。事前に申し込みをされた方には、粗品を用意しております。

また、消防車両の展示や起震車による地震体験など、当日来場者も楽しめる体験ブースを用意しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

開催日

9月5日(土)

開催時間

①普通救命講習会・講演会

午前9時30分～午後1時

※受付開始: 午前9時～

②消防ブース・体験ゾーン

午前10時～午後1時30分

開催場所

南会津消防本部(駐車場有)

参加料

無料

【普通救命講習会】

申込方法

電話、メール、FAX、申込フォームのいずれかで「氏名・年齢・連絡先」を記載のうえお申し込みください。

申込締切

8月28日(金)

その他

普通救命講習会は当日申し込みも可能ですが、人数制限により参加できない場合もあるため、事前申し込みをお勧めします。

問合せ

南会津地方広域市町村圏組合

消防本部 警防課 救急係

電話 0241-63-3116

FAX 0241-63-3115

メール fd-honbu-kyukyu

@minamiaizu-kouiki.jp

普通救命講習会

事前申込フォーム▶



田島小学校



交流学習～さいたま市立川通小学校～

6月23日 焼き板体験活動

4年生28名は、さいたま市立館岩少年自然の家にて、さいたま市立川通小学校の5年生20名と交流学習を行いました。当日は「焼き板体験活動」を通して、『協力・友情』をテーマに活動を展開。はじめは緊張からか恥ずかしそうにしていた子どもたちでしたが、時間が経つにつれて打ち解け、笑顔があふれる充実した活動となりました。

学び舎 スケッチ



町内各学校の日常や、児童・生徒の表情を紹介するコーナーです。

毎月4校ずつ情報をお届けします。

下記QRコードからも各学校の情報を発信していますので、ご覧ください。



町立学校
ポータルサイト



福島県立
南会津高等学校

南郷小学校



リンドウ農家のお仕事調べたい！

7月6日 見学学習

3年生の社会科の学習で、地域のリンドウ農家を訪問し、畑での栽培や出荷の作業を見せていただきました。地域の気候を生かした花き栽培が盛んなことを初めて知った子ども達は、興味津々で説明を聞き、仕事の工夫について熱心に質問していました。

荒海小学校



もしものときに備えて

7月10日、15日 着衣泳

全学年を対象に着衣泳を実施しました。ジャージや靴を着用してプールに入り、歩いたり泳いだりしましたが、いつもとは勝手が違うことを肌で実感。その後、いざというときの救命用具として2Lペットボトルを活用し、実際に浮く体験も行いました。夏休みは水辺に行く機会が増えます。今回の体験を活かし、安全に過ごしてほしいと思います。

館岩中学校



地域、産業を学ぶ

6月29日 森林体験学習

1年生は「きこりの店」を訪れ、森林や木の利用方法などについて学んできました。館岩の森林は広葉樹が多く、紅葉の素晴らしさは他の地域ではなかなか見られないことを学びました。また、工場ならではの大きな加工用機械についても丁寧に教えていただきました。最後まで優しく教えていただいた「きこりの店」スタッフの皆さま、本当にありがとうございました。

図書館へ行こう！

■第175回芥川賞、直木賞受賞作品決定！

7月15日に第175回芥川賞・直木賞受賞作が発表されました！

◆芥川賞受賞作
「ゾンビ回収婦」
こさがわ 小砂川チト／著
(講談社)



この世界の秘密をあなたに教えたい――。

AIに浸食された世界で、ある日夫とともに職を失ったわたし。何かから逃げるようにVRゲーム機のヘッドセットを装着する。

目の前に立ち顕れたのは、ゾンビが蔓延るホテルだった。

一気読み必至の圧倒的虚構世界〈リアルライフ〉。

◆直木賞受賞作
「けんぐわい」
あさくら 朝倉かすみ／著
(光文社)



「おまえは、一生外側にいるしかないんだ」

幼くして父を亡くし、手習い師匠の手伝いに出された痘痕の娘・ふゆ。

師匠の養子で歪んだ性癖をもつ宗三郎から手籠めにされ懐妊するが、現人神と崇められる女医者と出逢い、彼女の人生は大きく変わっていく…。

開館時間：午前10時～午後6時

本の検索や予約、貸出状況の確認は
コチラ▶



図書館では、今回の受賞作や候補作のほか、過去の受賞作も展示紹介していますので、ぜひご利用ください。貸出中の本は予約することもできます。



■わくわくとしょかんワーク

①おはなし会(毎月第3土曜日開催)

絵本と紙芝居の読み聞かせを行います。親子でぜひご参加ください。

日時：8月15日(土)

午前11時～午前11時30分頃

場所：図書館内「おはなしコーナー」

図書館 休館日カレンダー (■が休館日)

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												

【問合せ】 南会津町図書館 電話 0241-62-5522

8・9月の日曜当番医

日 程	病院名	電話番号
8月2日	高橋医院	0241-62-0040
8月9日	芳賀医院（下郷町）	0241-67-2128
8月16日	馬場医院	0241-62-0141
8月23日	なかやクリニック	0241-73-2036
8月30日	舘岩愛輝診療所	0241-78-8688

日 程	病院名	電話番号
9月6日	きむらクリニック	0241-62-5576
9月13日	佐藤医院（下郷町）	0241-67-2134
9月20日	高橋医院	0241-62-0040
9月27日	芳賀医院（下郷町）	0241-67-2128

※午前中のみ診察となります。ご注意ください。

栄養士監修コラム

今月の健康レシピ

今月の野菜 夏野菜



夏野菜は、水分やカリウム、ビタミンが豊富に含まれており、体にこもった熱をクールダウンし、夏の暑さに負けない体づくりをサポートしてくれます。

作り方

- ①むきエビは1cm幅、ズッキーニは1cm角に切ります。
- ②とうもろこしは包丁で実をこそげとります。枝豆は塩で板ずりして熱湯で茹で、さやから出しておきます。
- ③鍋にAを入れて火にかけ、沸騰したら①と②を入れて煮ます。
- ④火が通ったらBを加え、とろみをつけて完成。

夏野菜の彩りスープ

栄養価(1人分)

エネルギー	69kcal
たんぱく質	6.9g
脂質	1.5g
炭水化物	5.6g
塩分	1.0g



材料(4人分)

むきエビ	80g	A	水	600cc
ズッキーニ	40g		酒	大さじ2
とうもろこし	1/2本	B	シャンタンスープ	小さじ2
えだ豆	80g		片栗粉	小さじ1
			水	小さじ2

文芸ぐよみ

各会では会員を募集しています

おくやま吟社（田島地域）

苺狩くちびるすぼめ食べ急ぐ
七夕や園児の夢が竹に舞う
縄文の土に沈みし蓮咲く

湯田 畠道
星 柳山
こく ぼ

南郷俳句会（南郷地域）

燧ヶ岳背にして友の夏見舞い
万緑の木漏れ日くぐる峠道

酒井 里美
平野恵美子

鳴山短歌会

雨の日は花柄ピンク色の傘

祖母の形見をさしてゆく孫

赤羽 清孝

偶然に揚物半額コンビニで

普段買わない「ななチキ」ゲット

石橋 満江

悩み事相談相手はチャッピーで

時代に追われて球界去りぬ

猪股 宏光

庭に咲く花の主役は芍薬ぞ

根元に赤き紫蘭あしらう

梅宮トキ子

コーヒーをドリップしつつマスターは

真赤なバラに笑みを向けおり

梅宮 直子

戦前に近づく仕組み決まりゆく

物価高など置き去りにして

大竹 幸一

渡部町長の公務百景（No. 50）

※町長の公務を報告するコーナーです。



7月	会議・行事名
1	叙勲伝達式／館岩地域タウンミーティング
2	国道352号改良工事促進期成同盟会総会
3	南会津地方町村議会議員大会
4	福島県総合スポーツ大会レスリング競技開会式 木育キャラバンinみなみあいづ2026オープニングセレモニー 会津山村道場リニューアルオープンセレモニー まちなか賑わい事業「七夕まつり」
5	南会津町青少年の主張大会
6	南会津町農業振興地域整備促進協議会
8	国道289号線建設期成同盟会会長・副会長会議
10	ヒートポンプ・蓄熱月間感謝状贈呈式 南会津町防災会議

12	ふるさと南会津会総会（東京都）
14	まちづくり・地域づくり講演会
15	栃木西部・会津南道路整備促進期成同盟会総会
17	奥会津7町村文化施設間連携企画展「奥会津の道」 プレオープニングセレモニー
21	ホンダリヴェルタソフトボールチーム キャンプイン歓迎セレモニー 県道高岡田島線改修促進期成同盟会総会 叙勲伝達式
22	会津田島祇園祭宵祭・オープニングセレモニー
24	会津田島祇園祭太々神楽祭
25	隅田川花火大会
28	国道401号改良整備促進期成同盟会総会・中央要望
29	福島県議会人口減少・地域活力創造対策特別委員会 県内調査
31	JA会津よつば・会津17市町村トップセールス

今月号の目次

P 2：この町の日常が旅の目的に

ふくしまDCの記録

P 4：会津田島祇園祭

P 6：伝えたい、私たちの思い—

南会津町青少年の主張大会

P 10：役場からのお知らせ

ガバメントクラウドファンディング（ふるさと納税）を実施しています など（7件）

P 14：まちの話題

「ホンダリヴェルタ」夏強化練習 など（19件）

P 21：木の町みなみあいづ

P 22：くらしの情報

福島県政150周年記念フォトメッセージ
募集中！ など（7件）

P 24：学び舎スケッチ

町内各学校の日常をご紹介、図書館へ行こう！

P 26：文芸・戸籍など

日曜当番医、健康レシピ、文芸ごよみ、
渡部町長の公務百景、戸籍の窓口

P 28：Only One

渡部鉄心さん、今月号の表紙、
8月の納税こよみ

戸籍の窓口（6月22日～7月21日）

※上記期間の届け出のうち、承諾のあったものを掲載しています。

■ 誕生おめでとう

名前	性別	保護者名	地区名
れい 伶依	女	猪股京太郎	西町
なつき 夏葵	男	中柴 寛人	折橋
すい 粹	女	酒井 響	大橋
すずは 鈴葉	女	五十嵐孝太	下山口
かいら 權咲	女	中島 功泰	富山

■ おくやみ

氏名	年齢	喪主または世帯主	地区名
梅宮 森雄	97	隆雄	後原
長谷川栄司	99	高橋 栄子	今生
星 正太	85	仁	長野
湯田キクエ	93	義一	栗生沢
星 邦夫	88	善介	針生
星 クマ	90	和介	針生
星 ノブエ	98	美保	たのせ
星 守夫	89	啓一	湯ノ花
星 ヤイ	92	小林 洋子	湯ノ花
阿久津光春	79	光平	八総
齋藤 昭雄	99	一美	白沢
安藤 正光	65	月村 美穂	道城
酒井 智	65	政子	上山口
渡部 静枝	87	哲	下山口
渡部 クメ	93	京子	片貝

Only One

てっしん
渡部 鉄心 さん（片貝）

「ふるさとの魅力、自分の手で」
～広報づくり1日体験～



福島県立南会津高等学校2年生の渡部鉄心さん。広報に関する仕事への興味から、6月30日に南会津町役場総合政策課でインターンシップを行いました。

午前中は空き家調査に同行し、屋外での写真撮影に挑戦。暑さの中、「自分がいいと思った場面をたくさん撮る」ことを意識しながらシャッターを切り続けました。

午後は編集ソフトを使った広報紙づくりに取り組み、実際に紙面の一部をレイアウトしながら文章を入力する作業に挑戦。「たくさんさんの文章を打つこと」が大変だったと話します。写真を撮るだけでなく、言葉で伝える難しさも感じた様子でした。

また、仕事内容だけでなく、職場の雰囲気も印象に残ったという渡部さん。「最初は緊張感があるイメージでしたが、明るい職場だとわかりました」と話します。

一方で、あいさつや敬語、報告・連絡・相談など、社会人として大切なことを身近で見て、「自分にはまだまだ見習う点がたくさんある」とも感じたそうです。

取材から編集まで、広報の仕事の一連の流れを体験し、「この町についてまた一つ知ることができた」と話す渡部さん。今回の経験を、「将来の具体的な仕事選びにつなげていきたい」と充実した表情を見せてくれました。

■ 今月号の表紙



6月27日・28日、SL大樹「土津（はにつ）」が特別運行され、会津田島駅にも停車しました。東武鉄道・野岩鉄道・会津鉄道・JR東日本の4社が連携した歴史的な運行に、沿線では多くの人が集まり、その勇姿を見守りました。

■ 8月の納税こよみ

町県民税	(第2期)
固定資産税	(一)
軽自動車税	(一)
国民健康保険税	(第2期)
介護保険料	(第2期)
後期高齢者医療保険料	(第1期)
国民年金保険料	(7月分)
納期限	8月31日(月)
休日納税相談	8月30日(日)
8:30~12:30(本庁のみ開催)	

町公式HP▼



ふるさと納税▼



南会津町の人口

世帯数 6,159世帯 (▲7) 総人口 12,763人 (▲25) 男 6,299人 (▲6) 女 6,464人 (▲19)

※ 令和8年8月1日現在 () 内は前月比